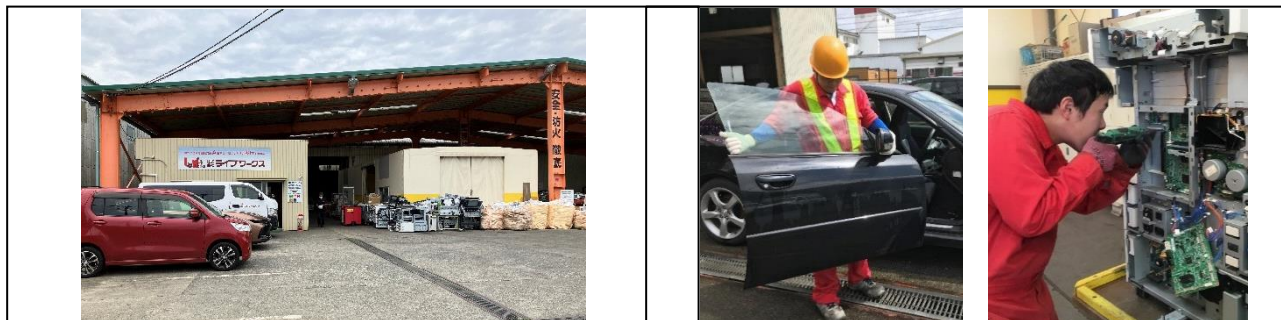


福祉サービス第三者評価の結果

令和7年4月30日提出（評価機関→推進委員会）



1 施設・事業所情報

(1) 事業所概況

事業所名称 (施設名)	ライブワークス	種 別	障害福祉サービス 就労継続支援A型事業所		
代表者氏名 (管理者)	代表取締役 兼 管理者 中里 明光	開 設 年月日	2017 (平成29) 年 8月1日		
設置主体 (法人名称)	株式会社ライブワークス	定 員	20名	利用人数	13名
所 在 地	八戸市大字市川町字下揚45番地10				
連絡先電話	0178-80-7004	FAX番号	0178-51-9095		
ホームページアドレス	http://www.live-works.jp				
第三者評価の受審状況	これまでの受審回数	受審履歴 なし			
	0回				

(2) 基本情報 ※必要に応じて写真等追加可能

理念・基本方針	<p>【理念】 環境リサイクルとの融和を図り、人と社会に必要とされる企業を目指します。</p> <p>【企業経営の指針】</p> <p>一、改善・繁栄の継続 創意・知恵・工夫は自らの手で行動しなければ、幸は訪れない。</p> <p>一、お客様第一の徹底 お客様が望むことを一番に考え、価値のある心と商品をお届け。 お客様の役に立つことが生き残る唯一の近道である。</p> <p>一、活力ある社員の育成 会社は社員とお客様の為にある。社員の幸福はお客様への幸福。 仕事を通じ生きることへの責任と、価値を高め成長することを願う。</p> <p>一、収益向上の義務 収益結果が全てを生み出し、幸福も成長もそこから始まる。 収益はお客様へ新しい商品の提供と役に立つ幸をもたらす。</p>				
	サービス内容 (事業内容)		施設の主な行事		
	就労継続支援A型 (主な作業) ・廃自動車リサイクル ・パソコン、コピー機等の廃棄およびリサイクル ・漁網リサイクル作業 ・個人宅および企業様の敷地、所有地・管理地の草刈り ・エアコン、トイレ、浴室、床等の清掃作業		・南部町主催 長ぐつアイスホッケー大会参加 ・農業ボランティア (サクランボ、梅等の収穫) ・パークゴルフ大会 ・年2回の防災訓練 ・労働安全衛生講習会 ・提携会社エコブリッジとの合同忘年会		
その他特徴的な取組	・アーク溶接特別教育受講 ・フォークリフト運転技能講習受講 ・刈払い機取扱作業安全衛生教育受講				

居室概要					居室以外の施設整備の概要				
訓練・作業室 133.5 m ²					洗面所 1ヶ所				
作業場 178.5 m ²					トイレ (男1ヶ所・男女兼用1ヶ所)				
					多目的室・相談室 各1ヶ所				
職員の配置									
職 種		人 数			職 種		人 数		
管理者	0	常勤	1	非常勤		0	常勤	0	非常勤
サービス管理責任者	1	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
職業指導員	3	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
生活支援員	2	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
賃金向上達成指導員	1	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤
	0	常勤	0	非常勤		0	常勤	0	非常勤

2 評価結果総評

◎特に評価の高い点

●利用者の可能性を引き出す就労支援

事業所独自の「キャリアパスプランニング」を用いて、日常生活・対人関係、作業能力・態度、実務関係の各分野を利用者本人と職員全員で評価し、労働技術向上の見える化を図ることにより、利用者自身が成長を実感し、自信を持つことができるよう取り組んでいます。作業内容も豊富で資格取得に挑戦する機会もあり、利用者のモチベーションアップに繋がっています。技術と安全への配慮を要する仕事であるため、継続できる方が限られがちになってしまう面はあるのですが、利用者が自らの可能性に挑戦していくことができる環境がつけられています。

●地域との交流とニーズの把握

管理者は、地域の教育、福祉関係機関及び経済関係団体との繋がりを活かし、利用者と地域との交流のための取組を行っています。うみねこマラソン、燕島海岸清掃活動、長ぐつアイスホッケー大会、三社大祭といった地域で開催される行事・祭りへも、積極的に参加の機会を作っています。また、これらの活動をとおして家族会や学校教員、地域との情報交換を行い、福祉ニーズ等の把握に繋がっています。作業面においても、外部就労として行っている水産加工（煮干し、魚類ミール生産）、魚網リサイクル、草刈りや清掃等は地域の産業やニーズと結びついており、交流の機会ともなっています。

●地域の福祉向上のための取組

加盟している経済関係団体等において障害者雇用のための講演セミナーを開催するなど、事業所の「工福連携」の取組について発信し、事業所の持つノウハウや専門的な情報を地域へと還元できるよう努めています。地域における障害者の就労に関する課題について、関係機関の連携体制づくりに貢献する取組がなされています。

◎改善を求められる点

●福祉サービスとしての姿勢の明示

企業としての、経営に関する理念や指針、事業運営にあたっての計画（ISO 国際マネジメントシステム事業計画）の策定やこれに沿った運営、経営環境の分析と必要な対応、安全管理等といった部分に関しては、申し分がない周知、取組がなされています。ただ、福祉サービス事業所としての運営や支援については「障がい特性を乗り越え、職能人材の育成を図る」という考えに基づき日々取組まれてはいるものの、理念・基本方針や事業計画として明確に示すまでには至っていません。福祉サービスとしての理念・基本方針の明文化及び事業計画の策定が望まれます。また、その中に優れた取組をされている地域との連携や貢献についての内容も含めてはいかがでしょうか。事業所の福祉サービスとしての姿勢が利用者、地域に対しよりわかりやすく示されることを期待します。

3 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

多岐にわたる評価・今後の経営行動に改善を図りながら、時代に即した事業所運営に努めて参ります。

事業計画の策定での評価Bですが、中・長期ビジョンの明文化の評価について、明文化しても急激に変わる総合支援法に戸惑うことが多々あります。突然のスコア・最低賃金の上昇など明文化しても、その通りに行かないことが多く「絵に描いた餅」になってしまいます。そのため、利用者及び職員のモチベーションが下がらないよう状況判断を見極め、進路変更を現実的に随時行っております。

評価機関	名 称	公益社団法人 青森県社会福祉士会
	所 在 地	青森市中央三丁目20番30号
	事業所との契約日	令和6年6月27日
	評価実施期間	令和6年6月27日～令和6年11月13日
	事業所への 調査結果の報告	令和7年2月25日

第三評価結果

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「環境リサイクルとの融和を図り、人と社会に必要とされる企業を目指します」という企業理念及び、経営に関する指針が明文化されています。事業所開設にあたって、自動車リサイクル事業・電子情報機器リサイクル事業に取り組む株式会社エコブリッジ（現在はグループ会社）が、障がい者インターンシップへの協力をきっかけにその働く姿勢に感銘を受け、就労A型事業所として雇用の拡大を図り開設に至ったという経緯があるとのことでした。そのため、理念及び基本方針が、企業として職員、利用者が共に意識すべき内容となっています。</p> <p>福祉サービスとしての事業所の考え方は、パンフレットの「経験・自信・自創～障がい特性を乗り越え、職能人材の育成を図る」という記載に示されているとのことでした。また、ホームページの中では、障害者が「成長する存在」「人を支える人材」「企業の戦力」となれるという思いや、「産業リサイクルを通じ、産業人材の育成を図る」という事業所の姿勢を示しています。実際の取組についても、この思いに基づき実施されている緻密なものであることが窺えました。これらの内容を、福祉事業所としての理念・基本方針という形で、より明確に示してみたいかがでしょうか。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>法律、社会情勢等の変化の把握に努め、各種行政セミナーや地域の特別支援学校との連携、報道等から情報を得て、その分析を行っています。事業収益向上のための見直しを常に行い、報酬改定や最低賃金の上昇をはじめとする諸々の環境変化に対応しています。</p>		

3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者が収支試算表を1カ月ごとに作成し、経営状況や課題を会議等で職員に周知しています。また、職員の意見を聞きながら今後の事業展開（新規事業等）について検討しています。利用者に対しては、できる部分、苦手な部分について独自の「キャリアパスプランニング」を用いて評価し、作業能力の向上と作業受注量とのバランスを図り、利益率の向上に取り組んでいます。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ISO 国際マネジメントシステム（9001・14001・27001・45001⇒それぞれ品質管理・環境システム管理・情報機密管理・労働安全衛生管理）事業計画が策定されています。</p> <p>福祉サービスとしての面で、地域のニーズに基づいた事業展開や支援に関する内容を含めた中・長期的なビジョンが計画として策定されているとなお良いでしょう。以下の事業計画に関する項目全てにおいて言えますが、利用者の職能人材としての育成のため、日々取組まれている運営や支援について、計画として明文化されることを期待します。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業計画は、生産性の面では過去数年度の経営状況、具体的数値を踏まえて策定されています。福祉サービスとしての面での中・長期計画の策定と、連動した単年度の計画の策定を期待します。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ISO に関する部分や生産性の面では、事業計画の策定において職員への情報共有及び意見聴取が行われており、また随時見直しが行われています。福祉サービスとしての面での中・長期計画と、連動した単年度事業計画の策定、職員参画のうえでの組織的な評価・見直しが行われているとなお良いでしょう。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>生産性、作業進行に関する部分は利用者にホワイトボードで周知しており、日々の作業が月ごと、年ごとの計画、目標に繋がるものと理解できるよう取り組んでいます。福祉サー</p>		

ビスとしての運営、支援等の部分での事業計画を明確にし、周知することを期待します。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「就労継続支援A型事業所におけるスコア表」（令和6年度：200点中175点）の各項目で求められている内容についての取組が、事業所の福祉サービスの質の向上に繋がっています。スコア表はホームページにて公表されています。第三者評価受審は今回が初回となります。NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会の「優良A型事業所認定制度」においては、優良A型事業所の認定を受けています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>「就労継続支援A型事業所におけるスコア表」各項目で求められる取組や、「優良A型事業所認定制度」への応募の取組などの中で、課題を明確にし改善策を実施しています。福祉サービスの質について、前項のとおり現状でも既に高い評価が得られていますが、今後は職員自己評価も定期的実施してみたいかでしょうか。PDCAサイクルに沿った課題の抽出と改善、サービスの質の向上を組織的に行うための仕組みづくりなど、更なる取組を期待します。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は、担当区分を明確にし、経営・管理に関する自らの役割と責任について職員に対して表明し、理解を図っています。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は、遵守すべき法令等について幅広く把握に努め、必要に応じて専門家の助言を受けながら、正しく理解するための取組を行っています。労働安全衛生法に関する内容、</p>		

防災・危機管理に関する内容については特に重点を置き、自ら社内研修を実施する等周知を図っています。		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は、自ら「キャリアパスプランニング」の評価票の様式を考案し、利用者の作業能力の向上や資格取得の推進に取組み、指導力を発揮しています。利用者・職員と積極的に意思疎通を図り、課題の把握に努め、質の向上のための検討・改善を行っています。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>管理者は経営の改善や業務の実行性の向上のため、経営環境・状況の分析を行い、定期的に売上・経費・利益の具体的な数値を示し、情報共有と話し合いにより職員全員が業務改善について意識を持つことができるよう取組んでいます。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>必要な人員体制は事業計画に記載され、計画に沿った実際の配置をしており、重要事項説明書に記載しています。職員配置数は基準に対して余裕を持ったものとなっています。作業の効率性を高めるため、期待する職員像としてはマルチタスク人材（全ての工程に対応できる力を求める）を挙げ、その育成を図っています。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>給与規程の中に昇給・昇格等に関して定められており、また人事考課基準による評価が行われています。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ワークライフ・バランスに配慮し、有給休暇の取得促進、残業削減、個別面談によるメンタルヘルス対策、健康診断等の取組が行われています。給与規程では賞与が年2回とされていますが、実際には3年前から年3回に増やしているとのことで、事業所の取組による利益拡大が職員へも還元され、やりがいに繋がっています。職員にとって働きやすく、満足度が高い職場づくりに努めています。</p>		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>期待する職員像としてはマルチタスク人材（全ての工程に対応できる力を求める）を挙げ、その育成を図っています。個別面談を実施し、管理者が職員の満足度や体調面についても把握に努め、必要に応じ助言を行っています。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>年間の研修計画が策定されており、その内容に沿った内部、外部での研修が実施されています。行政の集団指導に参加し、その内容を職員間で共有しています。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業所において研修を行い、新人職員は利用者が行う作業内容、労働安全について学んでいます。外部研修、資格取得の機会も確保し、すべての作業をマスターできることを目標に職員育成に取り組んでいます。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実習生等受入れマニュアルが策定されています。実際の受入れには至っていないとこのことでしたので、今後は福祉人材の育成への取組（支援に関わる専門職の研修、学生のインターン研修、その他の教育研修等への協力等）について検討してははいかがでしょうか。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページには、提供する福祉サービスの内容がわかりやすく公開されています。就労継続支援A型事業所におけるスコア表等についても、ホームページ内のブログで確認することができます。理念や基本方針、事業計画、事業報告、予算、決算情報、苦情・相談の体制や内容について等の公開があるとなお良いでしょう。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p>		

法令遵守を目的に、事業所の運営、経営については外部の専門家（司法書士、税理士、労務士）と顧問契約を結んでいます。また、弁護士を法律アドバイザーとして、特別支援学校校長に外部福祉相談として助言を受けています。

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ホームページやパンフレットなどで事業所の周知が図られています。管理者は、地域の教育、福祉関係機関及び経済関係団体との繋がりを活かし、利用者と地域との交流のための取組を行っています。うみねこマラソン、蕪島海岸清掃活動、長ぐつアイスホッケー大会、三社大祭といった地域で開催される行事・祭りへも積極的に参加の機会を作っています。また作業面でも、外部就労として行っている水産加工（煮干し、魚類ミール生産）、魚網リサイクル、草刈りや清掃等は地域の産業やニーズと深く結びついており、交流の機会ともなっています。さらに、利用者が昼食に社会資源として宅配弁当を活用できるよう情報提供を行っています。交流と産業への貢献の両面の視点からの取組が窺えます。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>インターンシップの実施やボランティアの受け入れを基本姿勢として、受け入れに対するマニュアルも作成されています。また、地域のイベント等にも積極的に参加、協賛され、地域社会と事業所をつなぐ位置づけが確立されています。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>八戸市障がい者ネットワーク会議や八戸高等支援学校運営協議会、八戸職親会など多くの関係機関・団体との連携があり、会議、行事や清掃活動等を通じて、家族会や学校教員、地域との情報交換が行われています。また相談支援事業所と利用者の情報共有や苦情の確認を行い、問い合わせ等に対しても事業所内に掲示して情報の共有を図っています。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>八戸市障がい者ネットワーク会議や八戸高等支援学校運営協議会、八戸職親会などに参加し、地域の福祉ニーズの把握に努めています。また障害者の就労、教育についての分析や開発、対策について講習会等を行っています。</p>		

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業所の特性や知識を用いて、所属する青森県中小企業同友会、青森県自動車整備振興会八戸協議会の障害者雇用のセミナー等で講演を行うなど、地域住民の福祉に対する理解の促進や地域づくりのための取組みが行われています。また、年2回の避難訓練の実施と、八戸市消防庁や市の防災管理課の指導を仰ぎ、防災意識を高めることができています。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>パワハラ・セクハラの徹底排除会議や虐待防止勉強会などで共通の理解をもって利用者を尊重しています。また、事業所内に関係資料を掲示して必要に応じて説明を行い、職員と利用者で共通認識が図れる取組を行っています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用開始時に秘密保持契約を交わし、個人情報保護はできています。また状況に応じて作業場所や内容の変更を行い、互いが干渉せず作業に取り組めるように配慮されています。ただ、規程・マニュアル等の整備がなされていないようなので、社会事業に携わる者としての姿勢や意識を十分に理解し、また事業所の特性に応じた留意点に関するマニュアル等の作成をしてみたいかがでしょうか。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>パンフレットやホームページ、養護学校等で情報提供を行い、随時、見学や体験、個人面談等を行っています。その際は家族にも同席してもらい面談を実施しています。また朝礼時に就労スケジュールの確認や業務通達で、個別に丁寧な説明やきめ細かな情報提供が行われています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>サービス利用契約時には本人及び家族に対して、重要事項説明書や利用契約書の内容を丁寧に説明し、利用者の同意に基づいた契約が締結されています。また年金の手続きや制度に関するアドバイスをわかりやすく説明し、福祉サービス以外でも本人の自己決定や理解が得られるように支援されています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>事業所の変更や移行に関しては、家族及び相談支援員とも連携し、本人の同意に基づいて福祉サービスの継続性が損なわれないように配慮されています。また疾病や情緒面の悪化等には、相談支援専門員や家族を通じてかかりつけ医の見解も確認し、最適な利用方法を考案しています。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者との個別面談や利用者満足度調査を実施して、利用者の満足度の確認やキャリアパスを支援しています。また体調や精神状態、朝礼時の異変等の確認、仕事に対する姿勢や意欲を確認しながら、状態把握と確認を行っています。調査結果に関する分析や検討記録、改善課題の発見など、評価や見直しを定期的に行う仕組みを検討してみたいかがでしようか。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>これまで苦情の申し出はありませんが、事業所や職員、利用者同士の不満や苦情があった際はいつでも受け付ける環境を整え、職員会議や家族への報告等を行い、フィードバックできるようにしています。また、第三者委員の設置により、客観性の確保、苦情を申し出しやすい配慮や工夫がされています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者や家族からの相談や意見は随時受け付けており、周囲に配慮しながら聞き取りを行い、場合によっては会議等で支援の見直し、改善を図っています。また、相談相手にも考慮し、意見を述べやすい環境や方法で確認できるように工夫されています。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>利用者や家族からの相談や苦言には迅速に対応するように心がけています。また、事業所内で解決できないときは、行政や有識者に相談して解決できる体制もできています。苦情解決同様に利用者からの意見や要望、提案等についても仕組みを確立することが重要で</p>		

あり、対応マニュアルなども瞬時に確認ができるように保管方法を検討してみてもいいでしょうか。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ISO 認証及びSDGs 宣言や労働衛生管理の実施及び表記を行い、安全と安心、福祉サービスの質の向上が図れています。また、研修会等でも労働に対する周知徹底を行っています。企業的な対策は十分に取られています。福祉サービスに関するリスクマネジメントについても検討することを期待します。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>朝の体調確認や出勤時には消毒、検温、血圧測定等を行い、健康管理を行っています。また感染マニュアルの作成や研修会などへの参加、マスクの着用を徹底し、感染予防を図っています。体調不良がみられた際は医療機関への促しも行っています。感染対策委員会の設置や感染に対する取組が行われていますが、マニュアルの見直しや評価する機会を定期的に行うことも検討してみてもいいでしょうか。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>防災マニュアルの設置、緊急時連絡網の体制を整え、避難先への誘導体験等を定期的に行っています。また、ハザードマップ等の防災に関する資料を掲示し、非常食、ヘルメットなどを準備して安全確保に努めています。また、市の防災計画に基づき、消防や警察などと連携して緊急時に備えています。事業継続計画は作成されていますが、就労A型としての事業継続計画の内容も記載することを期待します。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実施方法や作業内容は利用者にもわかりやすいように文書化されています。またチラシ等で本人や家族にも周知しています。さらに個別支援計画に基づき、サービス提供が行われています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>本人の適正にあった内容や作業に取組めるように計画の見直しを図りながら支援しています。また作業手順書に沿って取組み、本人の意見や要望が反映されています。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	<p>Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>サービス管理責任者が一人ひとりのニーズを明示した個別支援計画を作成し、サービス提供が行われています。また業者の意見等も反映、協議しながら個々の生産性の向上やスキルアップが図られるように取組まれています。</p>		
43	<p>Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>計画作成後は6ヶ月ごとにモニタリングを行い、適宜に見直しを行っています。また、相談支援事業所や他の関係者、家族の同席で会議を行い、意見を求める機会を設けています。見直しや会議内容、計画の変更理由等も確実に記録され、書面にも残されています。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	<p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実施記録やケース記録等、福祉サービスに関する記録はパソコンに常に保存され、職員間で共有を図っています。また紙の書類やファイル等は鍵付きの書庫で管理されています。</p>		
45	<p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	a・b・c
<p><コメント></p> <p>個人情報保護規程を策定し、個人情報は適切に管理されています。記録管理者が設置されて記録は5年間保管されるなど、管理体制が確立されています。</p>		